

# 小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

## 山口市立湯田小学校

### 学習指導の工夫

「視覚支援」を意識した指導法を工夫し、児童の生活習慣や学習習慣の確立を図る。

### 安全意識の醸成



交通量が多い通学路。安全に下校する心構えを、約束ボード「は・あ・と」で毎日確認します。

入学後の1週間は、地域ボランティアの皆さんが下校に付き添い、現場で安全指導を行います。



### 成果

下校前に、その日の担当教員から交通安全の話をし、安全の約束ボード「は・あ・と」を使って毎日唱和させた。声に出させることは、安全意識の喚起に効果的であったため、2学期末まで継続した。

その結果、児童の安全への意識は随分と醸成できた。3学期からは、学級ごとのグループ下校を経験させながら、次学年から始まる個人下校へとつないだ。

### 分かりやすい教具の開発



児童たちにとっては初めての校内持久走大会。覚えることがいっぱいです。

コースや帽子の色、走行上の注意は、ボードを見れば一目瞭然です。



### 成果

持久走の指導において、理解してほしい内容を、イラストを交えてボードや大型ペーパーで視覚的に示した。運動場で実施したため、児童にとって集中しにくい学習環境にもかかわらず、教員の話をよく聞いていた。持久走は、周回コースのために、児童が帽子の色を変える場所があったが、全ての児童が正しく理解し、安全に楽しく活動することができた。